

◇◇ 進路学習会 参加者の感想 ◇◇

進路学習会に参加された方から多くの感想が寄せられました。感想を寄せてくださった皆様に感謝いたします。しかし、紙面の都合で、一部の掲載になってしまいますが、ご了承ください。

講義の内容も、質疑応答もとてもためになる内容でした。学習会の案内を頂いた時は3時間も自分の集中力がもつのか…と心配でしたが、あつという間でした。

質問者の方も話していましたが、保護者としてはインクルーシブ教育をイメージするのが難しく、なかなか説明も難しいとは思いますが動画や実演？などあるとイメージしやすいかなと思いました。貴重なお話ありがとうございました。同じ悩みを持つ保護者の間でも共有したいとおもいます。(小・支)

今日は貴重なお話しが聞けてとても勉強になりました。

自分の子どもに無理をさせない、学校の勉強だけが全てではない、何を学びたいのかが大事など親として考えさせられる事ばかりでした。

学生である長田さんの体験談も参考になりました。お母様の当時の「生きてさえいてくれればそれでいい」との想い、本当にその通りだと思います。

なぜ高校、大学に行くのか？どうして勉強が大事なのか。本人がどうしたいのか？

考えなければいけない事がたくさんあります。

診断名のないグレーの境界線にいる子どもに知的である事を理解させる。親も子どもが知的である事を認めることから始めていかないと進路が進まないと分かりました。

また、勉強が全てではないという考えにも悩まされます。自ら学びたいという意志がないので勉強をさせられている感じでこの先も過ごしていくのか。

親もたくさん勉強が必要ですね。

今日のような勉強会や話す場の情報を見逃さないようにしようと思います。(小・支)

進路に関して断片的に知っていた情報が、今回の学習会でしっかり整理することができました。進路を決定する上での大切なことがわかり、我が子の選択肢はこれとこれとこれだなと明確になりました。とても有意義な時間となり感謝しています。

ただ、我が子はもう中2。帰宅してすぐ調べましたが、学校の説明会などでもう間に合わないところもあり、この学習会では中1で参加すべきだなと感じました。

(中・支)

以前から学習会に興味があり、今回やっと参加出来ました。とても貴重な学習会を開催していただきありがとうございました。

当事者の長田さんのお話は自分の子供の実態は違えど共感する部分も多く、聞いていて胸が痛く目が潤む場面もありました。長田さんの懸命にお話する姿を見て、今は出来ないことが多くても成長した子供の姿をイメージしやすくなったように思え希望を持つことが出来ました。

伊藤先生、阿佐野先生のお話から進路の現状や私たち保護者の適切なサポートの仕方を再確認することが出来ました。

新井先生をはじめ、わになろう会の皆様、有意義なお時間を下さり感謝いたします。(小・支)

漠然としていた知識はありましたが、あらためていろいろな進学先とその特徴を知ることができました。

長田さんの実体験や意見を聞くことができてとても良かったです。

残念な点としては、インクルーシブ含め知的障害の事例が多く、肢体不自由の子の進学先具体例を聞きませんでした。(中・支)

中1支援級の息子も長田さんと同じ不安感の強い子で、小学校の時は中学校への不安、今は高校への不安を抱えています。なんならその先の進学、就職、人生そのものにも不安を持っています。この先の進路を決めていく際のアドバイスで、長田さんのお母様の

「人生が死なない」ような選択をする、という言葉が胸に刺さりました。不安から「自分なんて死んだ方がいいんだ」「どうせオレなんて」という言葉を吐く息子。将来大きな挫折や苦しみに対面した時に、自死という最悪の選択をしてしまうのではないかという不安が、私の心の奥底にいつもあります。そうさせないために、最良の選択をする。本日の学習会は、なんとなくぼやっとしたイメージしか持てていなかった卒業後の進路が、霧が晴れるようにクリアになりました。息子ともよく話して、いろいろな学校を調べてリスト化し、積極的に見学に行こうと思います。本日はありがとうございました。(中・支)

